

ろくおん通信

発行日： 1991年12月15日

No. 40号

発行者： 盲人情報文化センター録音製作

音訳研修の会報告

本文に入るまでの処理について

録音製作 清水

11月28日に行われた、第5回「音訳研修の会」には、12グループ73名の参加がありました。今回は、本文に入るまでの、録音の順序と配慮する事項、録音図書凡例の役割、目次を読むときの配慮などについて研修しました。以下、当日の資料をもとに報告をします。

1. 題名の読み方

- ・ 題名については図書館で製作しているカードに合わせる。
- * 題名、副書名の区別を明確に。まちがって副書名を題名の前につけたり、書名の前につける題名を書名の後につけたりしない。
- * 同じ題名の続き物の時で副書名だけが変わるような場合 もあります。この場合、2巻目以降の梓アナにも副書名は入れる。
- * シリーズ名の例→○○叢書、○○講座、○○文庫、・・・etc.
- * 上(上巻)、下(下巻)などがある場合、副書名の後に入れるか、前に入れるかは注意する。副書名まで含まれた上、下なのか、上・下で副書名が違うかなどもチェックする。
- * 第○版(ハッ、パソ) 改訂版(カ行イハソ) 改訂新版(カ行イツハソ) 定本(テイホ)
- ・ ルビを優先して読む。字の説明が必要なときは奥付で行う。

2. 奥付の読み方

- ・ 書かれている順序で読むが、題名と著者は最初に読む。
- ・ 発行所などの住所が先にあり、著者の住所と混乱するときは、順序を入れ換える。
- ・ 題名、著者、訳者、などが掲載されていなくても奥付では入れる。
- ・ 題名で漢字の説明が必要ときはここで説明する。
- ・ 定価○○円、本体○○円。
- ・ 書名の題名と奥付の読み方は統一する。

題名 ○○○、 <u>上巻</u> (シリーズ名○○)、●●●(書名)	奥付 ○○○、 <u>上</u> ●●●(書名)、(シリーズ名○○)
---	--

3. 著者紹介

- ・著者はすべてここで紹介する。
- ・入り方と終わり方の統一

- × 著者紹介、・・・著者略歴おわり
- × 著者紹介、・・・訳者訳者紹介・・・著者紹介おわり
- 著者紹介、・・・著者紹介おわり。訳者紹介・・・訳者紹介おわり。

4. 原本凡例

- ・凡例を変えて処理する場合は、録音図書凡例でことわる。

5. 録音図書凡例

断わる順序は、

1. 構成上の処理に関すること。
2. 音声訳上の処理に関すること。
3. その他。

5-1. 構成上の処理

構成上の処理とは、検索しにくい録音図書の欠点を補う為に、聞き手が利用しやすいようにさまざまに工夫をすること。録音図書の構成などをあらかじめ利用者に知らせる。

*使い勝手に良いように工夫したことや使い方を説明する。

*専門書、辞書、参考書類が多い

●章単位に分冊

- ・章単位の活用が予想されるもの。「家庭の医学百科」など辞書的な使い方をするもの。

●目次の別テープ化

- ・目次に該当巻のコメントを入れる。

●注釈、図、表などの別テープ化

[録音図書凡例での断わり方の例]

『注釈(図・表)は、別テープに録音してあります。』

<本文終わり>

『(以上で本文を終わります。)テープ○巻へ続きます。

テープ第○には注釈(図、表・・)が録音してあります。』

<別テープの頭の枠>

『○○○(書名)、テープ第○巻A面、図(表)テープ第1巻』

●トーン・インデックス

*トーンインデックスとは

編集で信号音を入れることによって、キュー・レビューの装置のあるテープレコーダーで早送りや巻戻しをすれば、大・中・小の項目がわかるようにしたものです。

信号音は、30Hz、40Hz、50Hzの極端に低い音を使います。50Hz以下の音は人間の可聴範囲の限界を越えていますので、普通に聞いている時には聞こえません。しかし、早送りや巻戻しにしたなら、およそ18倍前後の早さになるため、30Hzの音は540Hzの音に、40Hzの音は720Hzに、50Hzの音は900Hzの音となって聞こえてきます。一音だけ使う時は、編集で30Hzの信号音を5秒間、項目にかぶせます。2音を使うときは、大きい項目の方に30Hzを5秒間続けて40Hzを5秒間かぶせます。小さい項目に30Hzを5秒間かぶせます。そうするとキュー・レビューの時に、大項目のところで「ピー、ピー」と2種類の音が聞こえ、小さい項目では「ピー」と1種類の音が聞こえることとなります。人間の声は18倍の早さになっていますので、何を言っているのかわからない「キュルキュル音」になって聞こえます。

『トーンインデックスを使用しています。キュー・レビューの際に信号音が聞こえます。項目を探す際にご活用下さい。』

『トーンインデックスを使用しています。キュー・レビューの際に、大項目に3音、中項目に2音、小項目に1音の信号音が聞こえます。項目を探す際にご活用下さい。』

●図表の触図化

- ・サーモホームや立体コピーなどを使って図、表などを作成する。

5-2. 音声訳上の処理

音声訳上の処理とは、記号などを含めてさまざまに表現された文章を聞き手に分かるように音声訳者が処理していくこと。録音図書凡例では、すべてを断わるのではなく、あらかじめ断わっておかないと、聞き手にその処理の意味が分からないものに限定する。また、その場で断わる方がよい場合もある。

●図、表、写真などのカット

- ・カットする場合の理由も添えてことわる。
- ・一部をカットする時には、誤解の無いように断わる。全部を省略したような印象を与えない。その都度、本文で断わった方がよい場合もある。

●外国語の処理

- ・発音記号を表現するのに点字表記を言い添えるような場合。
- ・大文字、小文字などの区別が必要なときにどう処理したのか。

●引用分の処理

- ・カッコという言葉で表現する時

注意 章単位で独立して利用するように製作する時、処理もどこから聞いても分かるような処理をする。

<言わなくてもよい例>

- ・目次の大小が分かるように配慮した場合
- ・ () などの処理 (声を低くして読む、一部カッコ、トジと読むなど)
- ・対談で記号で表示されているものを置き換えて読む。
- ・本文で「以下引用・・・引用終わり」などと言う。

5-3. 録音図書凡例には該当しない事項

- 音訳する本そのものの構成をあらかじめ知らせておいた方がよいもの
- *図・表の番号のうちかたが複雑で混乱しそうな時

録音図書凡例の最後に、
『なお、原本の○○は、……(様式、構成)になっています。』などと断わる。

6. 目次の読み方

<どんな時に配慮して読むか>

- そのまま読んだら、大項目や小項目などの区別がつかない。
- 小項目はないが、いくつかに分かれている。
- 目次をそのまま読んだら混乱する。

<大・中・小の関係を表わす言葉の例>

- ・部、章、節、項、一、その一、(イロハニ、カッコ1、丸1、a、b、)
- ・1、1の1、1の1の1
- ・1(イ)、1-1(イ、イ)、1-1-1(イ、イ、イ)、(*余り一般的ではない)

*注意 目次で配慮したものは、本文中も忘れずにつけ加える。

目次の読み方については、次号になります。

つづく。

正誤表から・・・その15

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
完遂	カンツイ	カンスイ	必定	ヒッテイ	ヒツジョウ
直伝	チョクデン	ジキデン	外題	ガイダイ	ゲダイ
蛇行	ジャコウ	ダコウ	訥弁	ノウベン	トツベン
憎悪	ゾウオ 増悪	ゾウオ	紅蓮	コウレン	グレン

訂正 「死客」は「刺客」の誤りでした。

二通りの読み方があるもの・・・その2

語句	古い	新しい	語句	古い	新しい
深紅	シンク	シンコウ	湿気	シッケ	シッキ
重複	チョウフク	ジュウフク	便殿	ビンデン	ベンデン
面目	メンモク	メンボク	分泌	ブンピツ	ブンピ
黙示	モクジ	モクシ	名利	ミョウリ	メイリ

二通りの読み方があるって各々意味が異なるもの・・・その2

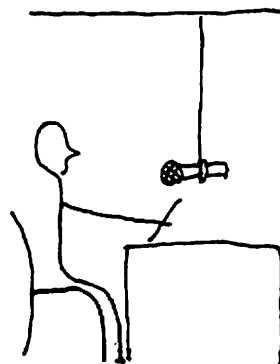
合力	ゴウリキ	力を合わせる	知行	チギョウ	武士の領地
	ゴウリョク	物理学用語		チコウ	知識と行為
直筆	チョクヒツ	筆 _ヲ 垂直 _ニ 立 _テ 行 _キ 書 _ク	首座	シュソ	役僧の一番上の位
	ジキヒツ	本人が書いた字		シュザ	最上位の席
悪性	アクショウ	心や行いの悪さ	礼拝	レイハイ	キリストキョウ・仏教
	アクセイ	病気の質の悪さ		ライハイ	仏教

— Q & A —

◇◇ このコーナーは質問にお答えします。どんな事でも結構です。ご質問があれば、お寄せください。

Q: マイクの上手な使い方を教えてください。

A: マイクをセットする場合、できるだけ机などに接しないようにする事が重要です。市販のマイクスタンドを購入するとかなり高価になります。簡単にできる方法は、太めのナイロンロープでマイクを縛り（水平になるようにバランスをとる。）天井から吊るすようにすると良いでしょう。天井から吊るせないようでしたら、マイクスタンドの下に柔らかいものを敷いて、机の振動などがマイクスタンドを通して録音されないよう工夫してください。



リクエスト図書一覧

下記の図書は利用者から原本を用意されて製作依頼を受けています。音訳してもよいと思われるグループや個人の方がありましたら、下記までご連絡ください。はじめてのグループも歓迎します。

(連絡先: 06-441-0015 盲人情報文化センター録音製作係、清水)

- 『Lisp/MS-DOS版エキスパートシステム構築法』 /高橋邦芳著 : <情報科学、専門書>
『新世代ビジュアルプログラミング・名人Ver. 2.0』操作ガイド』 /コナス事業部著 : <コンピュータ>
『会社法』 /鈴木竹雄著 : <法律>
『古代エジプト失われた世界の解説』 /笈川博一著 : <歴史>
『悪霊撃退法』 大川隆法著 : <宗教>
『アラフラ海航海記』 鶴見良行著 : <紀行>
『検査値で読む人体』 高見茂人著 : <医学>
『薬局で買ったクスリの副作用が分かる本』 岩城利一郎著 : <薬学>
『薬草』 井波一雄解説 : <薬学>
『エドガー・ケイシーの超能力健康法』 ハロルド・J. レイリ著 : <医学>
『現代なぜなぜ事典 もの知りデータベース』 日本実業出版社編 : <社会科学>
『図解/簡明針灸脈診法』 藤本連風著 : <医学>
『中国傷寒論解説』 劉渡舟著 : <医学>

<>内は分類

音訳を引き受けて頂いた図書とグループ名

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 『別れの曲』 /芝木好子著 | テブライブリ-にのみや |
| 『絵本の新世界』 今江祥智著 : | テブライブリ-にのみや |
| 『歌集秋果』 /三浦槇子著 | テブライブリ-にのみや |
| 『ジグが来る上・下』 /キャナル・アムストロング 著 | みなわ |
| 『「そして誰もいなくなった」殺人事件』 /ジヤクマール&セッカ著 | みなわ |
| 『オーストラリア歴史の旅』 /藤川隆男著 | えくてもあ |
| 『警察所長上・下』 /スチュアート・ウッズ 著 | えくてもあ |
| 『現代心理学二』 /P.G.ゾルバルト 著 | えくてもあ |
| 『警察所長上・下』 /スチュアート・ウッズ 著 | えくてもあ |
| 『シャド-81』 /ルシアン・ネイハム著 | えくてもあ |